

# 経営比較分析表

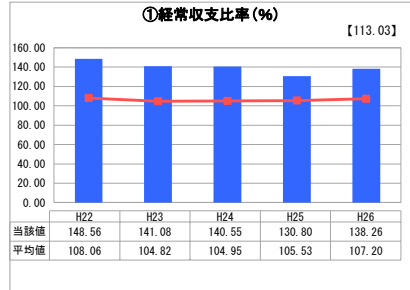
岐阜県 八百津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A8
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	77.42	78.28	4,384

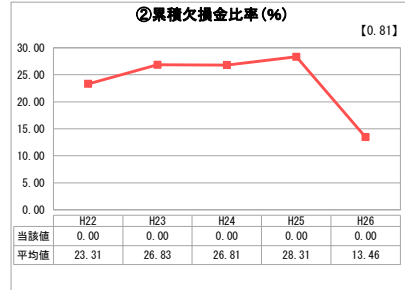
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,828	128.79	91.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,254	12.27	754.20

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成26年度全国平均

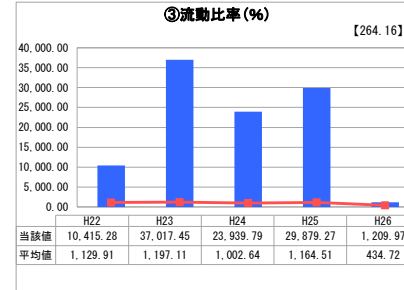
## 1. 経営の健全性・効率性



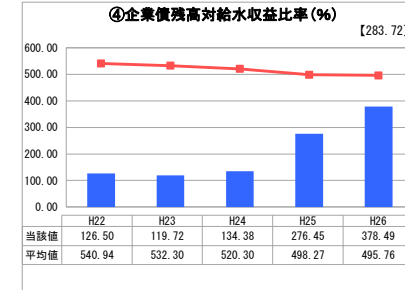
「経常損益」



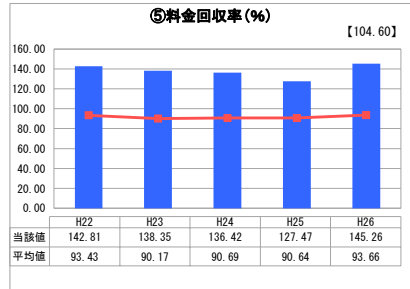
「累積欠損」



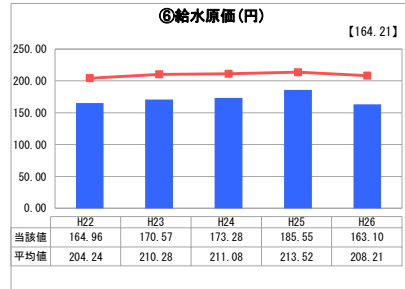
「支払能力」



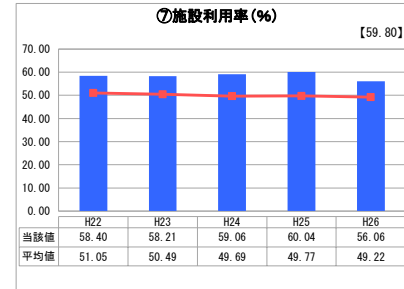
「債務残高」



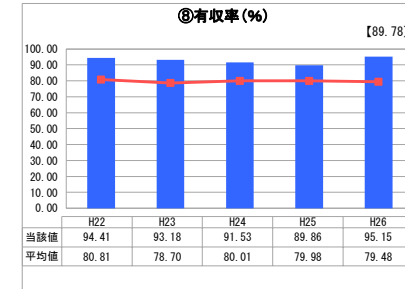
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

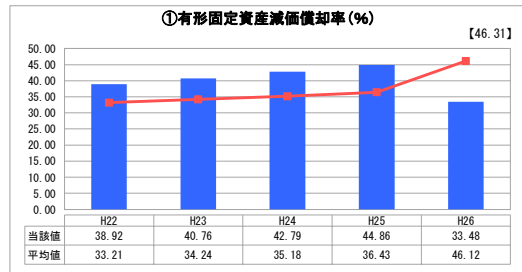


「施設の効率性」

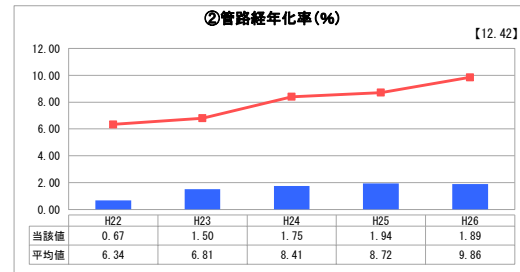


「供給した配水量の効率性」

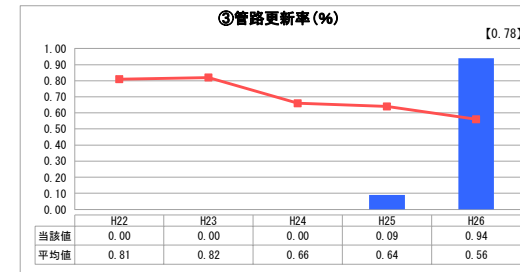
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

給水人口が減少傾向であり、配水量も節水機器の普及等もあり減少してはおりますが、水道使用料の料金回収によって健全な運営ができております。また、他団体と比べてみましても給水原価は低く、施設利用率・有収率ともに高水準であることから、効率的な運営であると判断出来ます。近年の上飯田浄水場建設工事で多額の企業債借入及び現金支出となりましたが、流動比率、企業債残対給水収益比率を他団体と比較しても良好な数値です。この先の企業債償還についても給水収益で充分償還していける体力ががあります。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を超える管路は少ないです。ただし、近年の管路更新率の増加は上飯田浄水場建設工事に係る送・配水管新設工事であり、老朽管の更新ではありません。今後法定耐用年数を超える管渠延長の増加が見込まれますので、計画的な更新が必要となります。

### 全体総括

経常収支率では、他団体と比較しても良好であり健全な運営ができていていると判断出来ます。しかし、この先耐用年数を超える管渠延長の増加が見込まれますので、計画的に布設替等の管路更新工事を行っていく必要があります。安心で安全な水の供給を行うためにも、老朽化対策や管路更新の投資はさけては通れません。人口減少傾向で料金収入も減少しているため、今後の工事資金等を確保するためにも現在の収益体制を維持していきたいです。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。